

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1.(1)】:

- ① 地域の環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市
- ② 新しい産業を創出・育成する都市
- ③ 新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市
- ④ 広域的な交流と連携の窓口(ゲート)となる都市

①
課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>環境
<課題・目標>低炭素・省エネルギー
<取組方針>
戸建て住宅街区において、燃料電池と太陽光発電システムを街区ごとに設置し、エネルギーの共有化及び一元的管理により住宅街区におけるCO2排出量削減を図る。

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 基盤整備のためのマスタープラン作成
- b. 道路・公園・下水道などの都市施設整備に着手
- c.
- d.
- e.
- f.

※2.(1)①取組内容のみ記載すること
※再掲可

②
課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>超高齢化対応
<課題・目標>地域の介護・福祉
<取組方針>
・ バリアフリーの道路、安心な歩道ネットワークの整備
・ 安全に運動できる公園の整備
・ 交流活動のためのコミュニティ施設の整備

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

③
課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>その他
<課題・目標>環境共生型技術・システムの発信
<取組方針>
・ ツインシティを実証実験の場とする。
・ 産官学連携センターの設置

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

④
課題・目標・取組方針【1.(2)】

.....

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a.
 - b.
 - c.
 - d.
 - e.
 - f.
-

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1.(3)①】

- ・<①、③>環境共生型技術・システムの研究・開発とその実証実験の場としてのモデル都市が、共存することによる技術のモデル化、研究開発へのフィードバックが行われ、より高い次元の環境共生型社会の実現が図られる。
- ・<②、③>先端技術を利用した高齢者の医療、介護に関する情報共有が行われ、よりよいサービスの提供が行われる。